

目次

最新情報	1
新機能	1
V1.20の追加	1
V1.10の追加	1
V1.02の追加	1
メンテナンス	2
ドライブファームウェアT.OJの修正	2
ドライブファームウェアT.OHの修正	2
ドライブファームウェアT.OGの修正	2
ドライブファームウェアT.OFの修正	2
V1.32の修正	2
V1.31の修正	3
V1.22の修正	3
V1.21の修正	3
V1.20の修正	3
V1.15の修正	3
V1.14の修正	3
V1.13の修正	3
V1.12の修正	3
V1.11の修正	4
V1.03の修正	4
V1.02の修正	4
ファームウェアバージョンの確認	4
ファームウェアがV1.31より前の場合の確認方法	4
ファームウェアがV1.31以降の場合の確認方法	4
ドライブファームウェアバージョンの確認	5
ファームウェアおよびドライブファームウェアのアップデート手順	5

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.20の追加

- アナログ出力アッテネーション機能を追加しました。

V1.10の追加

- ユニバーサルリモートコントロールユニット『TASCAM RC-900』に対応しました。
(RC-900からの制御は、リンク再生機能をサポートしません)

V1.02の追加

- CD-Textの日本語表示に対応しました (SS-CDR200のみ)。

メンテナンス

ドライブファームウェアT.OJの修正

- 動作の安定性を向上しました。

注意

ドライブファームウェアが「T.OD/T.OE/T.OF/T.OG/T.OH (SN250)」の場合は、本体のファームウェアを「V1.31」以降にアップデート後、ドライブファームウェアを「T.OJ」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「3.OF (W224)」の場合、ドライブファームウェアをアップデートする必要はありません。

ドライブファームウェアT.OHの修正

- 一部のCD/CD-R/CD-RWでロードに時間がかかったり、再生が止まってしまう場合がある不具合を修正しました。
- 一部のCD-Rで “**-error- RECORD**” と表示されて録音が停止してしまう場合がある不具合を修正しました。

注意

ドライブファームウェアが「T.OD / T.OE / T.OF / T.OG (SN250)」の場合は、本体のファームウェアを「V1.31」以降にアップデート後、ドライブファームウェアを「T.OH」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「3.OF (W224)」の場合、ドライブファームウェアをアップデートする必要はありません。

ドライブファームウェアT.OGの修正

- ドライブファームウェア「T.OF (SN250)」において、稀にリードエラーにより再生が止まってしまう不具合を改善するために、ドライブファームウェアを「T.OG (SN250)」にアップデートします。

注意

ドライブファームウェアが「T.OD / T.OE / T.OF (SN250)」の場合は、本体のファームウェアを「V1.31」以降にアップデート後、ドライブのファームウェアを「T.OG (SN250)」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「3.OF (W224)」の場合、ドライブファームウェアをアップデートする必要はありません。

ドライブファームウェアT.OFの修正

- ドライブファームウェア「T.OE (SN250)」において、一部のCD / CD-R / CD-RWがロードに時間がかかってしまう不具合を改善するために、ドライブファームウェアを「T.OF (SN250)」にアップデートします。

注意

ドライブファームウェアが「T.OD / T.OE (SN250)」の場合は、本体のファームウェアを「V1.31」以降にアップデート後、ドライブのファームウェアを「T.OF (SN250)」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「3.OF (W224)」の場合、ドライブファームウェアをアップデートする必要はありません。

V1.32の修正

- LOCKしているSDカードに対して、RS-232CのRECORDコマンドで録音を開始してしまう不具合を修正しました。
- 特定のCDの再生動作中に、ホーム画面がTITLEモードまたはFOLDERモードで “**MENU**” 画面を表示し、再度ホーム画面に戻ると操作が効かなくなる不具合を修正しました。

V1.31の修正

- 録音のFs設定が48kHzになっている状態で起動した際に、音声入力のFsが48kHzにも関わらず **“FS UNMATCH”** と表示される不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上しました。
- ドライブファームウェア「T.0D (SN250)」において、動作の安定性を向上するために、ドライブファームウェアを「T.0E (SN250)」にアップデートします。
ドライブファームウェアを「T.0E (SN250)」にアップデートするには、本体のファームウェアを「V1.31」にアップデートしてください。

注意

ドライブファームウェアが「T.0D (SN250)」の場合は、本体のファームウェアを「V1.31」以降にアップデート後、ドライブのファームウェアを「T.0E (SN250)」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「3.0F (W224)」の場合、ドライブファームウェアをアップデートする必要はありません。

V1.22の修正

- MP3録音中から録音待機状態にすると、作成されたデータにノイズが混入する場合がある不具合を修正しました。

V1.21の修正

- 表示時間が100時間を超えたとき、**“--h--m--s”** (--:--:--) と表示していたのを **“99h59m59s”** (99:59:59) に修正しました。
なお、100時間を超えている場合は99h59m59s(99:59:59)を表示し続けます。
- RS-232Cコマンドで時間を返信する際に、100時間を超えているとデータを何も返信しない不具合を修正しました。
その場合、返信するデータは「5999m59s74f」になります。

V1.20の修正

- 「GEAR CD」というソフトで作成されたCD-Rで、ファイルの一部が読み込めない問題を解決しました。

V1.15の修正

- RIP TO MEMORY機能を実行するとき、コピー先メモ리카ードのルートフォルダにフォルダが4つある場合に、カーソルを4番目のフォルダの次に移動しようとするときとハングアップする不具合を修正しました。

V1.14の修正

- パラレル端子を使った制御で、信号を30msec間GNDに接続しても、稀に反応しない不具合を修正しました。
- 一部のUSBキーボードを認識することができない不具合を修正しました。

注意

MP3ファイル録音中のRECORD、READY、STOPは1秒以上、GNDに接続することで反応します。

V1.13の修正

- プログラム再生、プレイリスト再生中にオートレディ機能をオンからオフに切り換えると、異なる順番で再生してしまう不具合を修正しました。
- Mac OSで作成されたMP3データCDを再生する場合、ごく稀に同一ファイル名を二重に認識してしまうため **“- error - DECODE”** と表示されて再生しなくなる不具合を修正しました。
- データCDを読み込むと **“MEDIA ERROR”** となる不具合を修正しました。
- システムファイル (file_list.binなど) が無いためにアップデートが失敗する不具合を修正しました。
- Apple USBキーボードを挿したままの状態でも電源をオンにすると、USBキーボードを認識しない不具合を修正しました。
- RS-232CのPLAYコマンドなどで、ホーム画面の表示がTRACKモード表示になってしまう不具合を修正しました。
- 一部のUSBキーボードを認識することができない不具合を修正しました。

V1.12の修正

- MP3データCDで、稀に一部の曲を認識しない問題を解決しました。
- 24ビットのモノラルのWAVファイル再生時、正しく再生できない不具合を修正しました。
- VBRのMP3ファイルをスキップバック／フォワードした際のサーチの位置の精度が向上しました。

V1.11の修正

- フラッシュロードした状態で録音待機状態にした後、停止してから再生すると録音待機中に入力された音声が生再生される不具合を修正いたしました。
録音待機状態から停止した場合は、フラッシュロードが解除されます。

V1.03の修正

- リモートコントローラー『TASCAM RC-3F』を使用する際、MODE2/3のときにREADY状態で**CENTER**スイッチを踏み、離すときにREADYに戻ってしまう不具合を修正いたしました。

V1.02の修正

- USBメモリーに対する動作を安定させました。
- デバイスをUSBに切り換えると、“**MEDIA READING**”表示のまま進まないことがある不具合を修正しました。
- RS-232Cコマンドの「REMOTE/LOCAL SELECT (4Ch)」でREMOTE設定の時に、STOPキーだけは除外して効いていましたが、STOPも効かなくなりました。
- RS-232Cコマンドの「DIRECT TRACK SEARCH PRESET (23h)」で存在しないトラックを指定した時に、「ILLEGAL (F2h)」を返さずに無視してしまう不具合を修正しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのSS-CDR200/SS-R200/SS-R100のファームウェアバージョンを確認します。

ファームウェアがV1.31より前の場合の確認方法

1. 本体の電源がオフの状態で、本体の**STOP**ボタン、**PLAY**ボタン、**READY**ボタンを押したまま**POWER**スイッチを押して電源をオンにします。
2. ここで表示される“**m ver.**”、“**build.**”および“**f ver.**”を確認します。

メモ

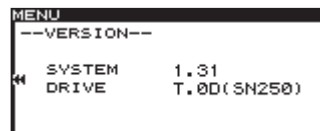
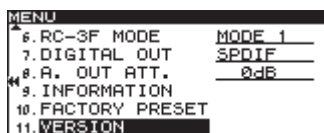
起動画面を表示後、次の画面が表示されるまでボタンを押したままにしてください。



ここで表示される“**m ver.**”、“**build.**”および“**f ver.**”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアがV1.31以降の場合の確認方法

1. 本体の**MENU [JOG]** ボタンを押して、“**MENU**”画面を表示します。
2. “**UTILITY**”メニュー画面を表示します。
3. “**VERSION**”項目を選択（反転表示）します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
システムファームウェアバージョンとドライブファームウェアバージョン（SS-CDR200のみ）が表示されます。



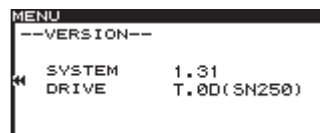
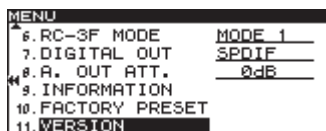
ここで表示される“**SYSTEM**”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ドライブファームウェアバージョンの確認

ファームウェアがV1.31以降の場合、ドライブファームウェアバージョンを確認することができます。

ドライブファームウェアアップデート作業の前にお手持ちのSS-CDR200/SS-R200/SS-R100のドライブファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体のMENU [JOG] ボタンを押して、“MENU” 画面を表示します。
2. “UTILITY” メニュー画面を表示します。
3. “VERSION” 項目を選択（反転表示）します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤルを押します。
システムファームウェアバージョンとドライブファームウェアバージョン（SS-CDR200のみ）が表示されます。



ここで表示される“DRIVE”が「T.0D / T.0E / T.0F / T.0G (SN250)」の場合はアップデートし、「T.0H (SN250)」 / 3.0F (W224)」の場合はアップデートする必要はありません。

ファームウェアおよびドライブファームウェアのアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）より最新のファームウェアおよびドライブファームウェアをダウンロードし、圧縮ファイルを解凍します。
2. ダウンロードしたファームウェアをCFカードのルートディレクトリ（一番上の階層）にコピーしてください。
3. 本体の電源がオフの状態で、本体のSTOPボタン、PLAYボタン、RECORDボタンを押したままPOWERスイッチを押して電源をオンにします。

メモ

起動画面を表示後、次の画面が表示されるまでボタンを押したままにしてください。

4. SS-CDR200の場合は、以下の画面が表示されます。
SS-R200 / SS-R100の場合は、5.にお進みください。



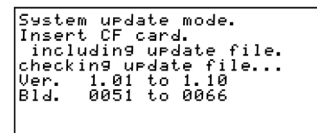
本体のMULTI JOGダイヤルを回し、“System update” または “Drive update” を選択（反転表示）し、MULTI JOGダイヤルを押します。

5. 以下の画面が表示されます。



[ファームウェアアップデートの場合の表示]

6. ダウンロードしたファームウェアをコピーしたCFカードを、CFカードスロットに挿入します。
7. 本体のMULTI JOGダイヤルを押します。
8. CFカードを確認し、ファームアップデート用ファイルを確認すると以下の画面が表示されます。

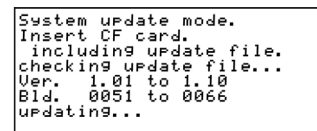


[ファームウェアアップデートの場合の表示]

メモ

- ファイルの確認には、多少時間がかかります。
- 表示されている画面は一例で、実際の表示とは異なります。

9. 本体のMULTI JOGダイヤルを押します。
“updating...” が表示され、アップデートが開始されます。

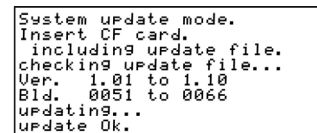


[ファームウェアアップデートの場合の表示]

メモ

画面は表示例で、実際の表示とは異なります。

10. アップデートが完了すると、“update Ok” と表示されます。



[ファームウェアアップデートの場合の表示]

11. 本体のPOWERスイッチを押して、電源を切ってください。
12. 「ファームウェアバージョンの確認」および「ドライブファームウェアバージョンの確認」を参照して、最新のファームウェアとなっていることを確認してください。
全てのファームウェアのアップデートが終了したら、アップデート作業は終了です。
13. CFカード内あるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。